

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑩

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

- 「ボーナスが生活給になっていることは承知している」「支払い体力はある」と会社は言いつつ、夏の「2.3ヶ月＋0.1ヶ月＋5,000円」（2.415ヶ月）より低い2.2ヶ月の回答には、到底理解も納得できません！本当にボーナスが生活給になっている現実を会社は承知しているのか？追加申し入れに対して率直に喜びと、そして勇気をいただきました！
- 中央本部の英断に心より賛同します！2.2ヶ月超低額回答であらためて経営側は、社員に対して全く想いが無いと言うことが分かりました。努力する社員を裏切る回答です。怒りしかありません。悔しくて諦めきれない中での追加支給申し入れ。率直に嬉しかったし、追加支給を勝ち取る！やってやるぞ！と心が燃えています。東日本ユニオンは最後まで諦めない！私も満額支給を最後まで諦めず挑戦し、職場で発信していきます！
- 今回の回答2.2ヶ月で妥結してほしくなかった。妥結をすれば会社はこれほどの低額回答でも私たちの労働組合が納得していると思ってしまうから。追加支給は難しい闘いだと思うが「労働組合は諦めが悪い」「イエスマンではない」ことを内外にアピールしてほしいし、私も職場で広めていきたい。
- これまで業績が良いときに、あれだけ出し渋り「安定支給のため」と言ってきた、今回この回答では納得がいかない！追加支給の申し入れを受付ないのなら、これまで業績が良かったときに出し渋った分の手当を、いまずぐ支給してほしい。このまま黙っていても社員どころか労働組合までもなめられる！しっかりと会社回答に対しての組合員や現場社員の声を届けて下さい！全組合員、そして他労組組合員、組合未加入者よ、立ち上がれ！！
- 会社は「羽田空港アクセス線の環境の整備」「中央線の12両化」「新車導入」と今後の設備投資の概要が団交の場で明らかになりました。一方で、人件費の大幅削減を回答しても「異議を唱える社員は少ないだろう」と考え、社員を軽視する低額回答でした。会社は「2021年度は黒字に転換する」と言っています。その道筋を立てないまま「社員は我慢して下さい」と言うのは、会社組織の怠慢でしかありません！本来であれば「2021年度の黒字転換は棘の道ではありますが、社員一丸となり奮闘していきましょう。そのため、今年末手当は3.0ヶ月分を支給します」と回答するのが道理であると思います。本部交渉委員のみなさん！会社の傲慢な姿勢を暴いて下さい！